

「セミの抜け殻調査会 in 外堀公園」は、いつも文京区での自然観察会に協力していただいている「日本自然保護協会自然観察指導員 東京連絡会 (NACOT)」が開催する観察会に参加するという形態をとりました。下記は、NACOT の機関紙「SIGN POST」に掲載された ENB へのインターンシップ生による実施報告です。

## セミの抜け殻調査会 in 外堀公園

開催日：平成18年8月5日(土) 10時～12時30分

場所：外堀公園(四谷～市ヶ谷間) まとめ会場：新宿御苑内

参加者：小学生 12名、保護者 11名、NPO スタッフ：大学生 5名

NACOT 指導員：小口、川上、大久保、松田、国安、市田、田丸、柳下、町田、仁平、今徳、田邊

報告：文京学院大学・短期大学インターン生 上岡咲絵、島田奈美

私達は、8月5日外堀公園でのセミの抜け殻観察会にスタッフとして参加させて頂きました。

参加者20名程度を数名のグループに分け、観察指導員の方とスタッフというグループ構成で観察会はスタートしました。当日の外堀公園はセミの元気な鳴き声と蒸し暑さでいっぱいでした。そんな中でも子供達は暑さに負けず、元気にセミの観察を熱心に行い、指導員の方のお話を真剣に聞いていました。このイベントに参加するまでは、最近の子供に接する機会がほとんどなかったのととても楽しく一緒に観察することが出来ました。観察をしている中、見つけたけれど自分の身長では届かない所にある抜け殻を見つけたときは走って教えに来てくれたり、自分が違う場所で探していると一緒に協力して探してくれる子供もいました。一緒に観察していて驚いたことは、子供の集中力・観察力のすごさです。スタッフを含めて大人の視野からでは見つけられない所や、もうここにはないな、と思うような場所でも、あった!と次々と見つけていました。見つけるその早さと目の良さに思わず自分と比べてしまいました。自分達の知識よりも子供達の方がセミに詳しくて、教えられることもしばしばありました。



このイベントには保護者の方も抜け殻採集に参加され、一緒に調査をされていて良かったです。子供達とお喋りしながら採集をするうちに保護者の方達とも会話が弾み調査がより一層楽しく行えました。

外堀公園での観察が終わり、場所を新宿御苑にある会議室に移動して調査のまとめをしました。そこでは6～7グループに分かれて採集したセミの抜け殻の種類、雄雌の調べ方をレクチャー班に分かれて行いました。子供達は採集した抜け殻が何セミなのか各自受け付け時に配布された資料と照らし合わせ熱心に観察し、また少し難しい雄雌の区別も指導員の方のお話を聞いて、アドバイスを貰い、集中して調査に取り組んでいました。

このイベントに参加した感想は、こういったイベントはどんどん開催されたほうが良いなと感じました。家の中に居ることが多くなった今の子供達にとってこのような企画は、今後の子供達にとってとてもいい経験になっていくのではないかと思います。私達は家で遊ぶ子供にこの企画に参加してもらい、外で遊ぶことの面白さ、皆で協力して調査する楽しさを学んでもらいたいと思いました。このイベントに参加されていた子供達の目の輝きがとても印象的でした。

## 桜並木

	ニイニイゼミ	ミンミンゼミ	アブラゼミ	ツクツクボウシ	不明	合計
オス	2	81	29	0	8	120
メス	0	75	9	0	5	89
不明	0	0	0	0	0	0
合計	2	156	38	0	13	209

## 雑木林

	ニイニイゼミ	ミンミンゼミ	アブラゼミ	ツクツクボウシ	不明	合計
オス	1	124	54	1	29	209
メス	1	82	36	0	41	160
不明	0	0	0	0	0	0
合計	2	206	90	1	70	369

## 合計

	ニイニイゼミ	ミンミンゼミ	アブラゼミ	ツクツクボウシ	不明	合計
オス	3	205	83	1	37	329
メス	1	157	45	0	46	249
不明	0	0	0	0	0	0
合計	4	362	128	1	83	578